

目次

日本語版への序

1928年 O. W. Richardson	5
授賞のことば	7
リチャードスン	
講演 熱電子現象とそれを支配する法則	10
経歴	26
1929年 L. de Broglie	29
授賞のことば	31
ド・ブローイ	
講演 電子の波動性	34
経歴	48
1930年 C. V. Raman	51
授賞のことば	53
ラマン	
講演 光の分子散乱	58
経歴	68
1931年 授賞なし	
1932年, 1933年 W. Heisenberg, E. Schrödinger, P. A. M. Dirac	71
授賞のことば	73
ハイゼンベルク	
講演 量子力学の発展	81
経歴	94
シュレーディンガー	
講演 波動力学の基本思想	97
経歴	112
ディラック	
講演 電子と陽電子の理論	123
経歴	130

1934年 授賞なし

1935年 J. Chadwick—————133

授賞のことば……………135

チャドウィック

講演 中性子とその性質 141

経歴 153

1936年 V. F. Hess, C. D. Anderson—————155

授賞のことば……………157

ヘス

講演 物理学における未解決の問題
：宇宙線研究における近い将来の課題……………164

経歴 167

アンダースン

講演 陽電子の発生と性質……………169

経歴……………181

1937年 C. J. Davisson, G. P. Thomson—————185

授賞のことば……………187

デヴィッスン

講演 電子波の発見……………194

経歴……………203

トムスン

講演 電子の波……………205

経歴……………214

受賞者の年表

1928—1937年度のノーベル化学賞

1928—1937年度のノーベル生理医学賞

各巻の受賞者および受賞理由

編者あとがき

人名さくいん